

# 千葉県地域医療再生計画の概要

## 現状

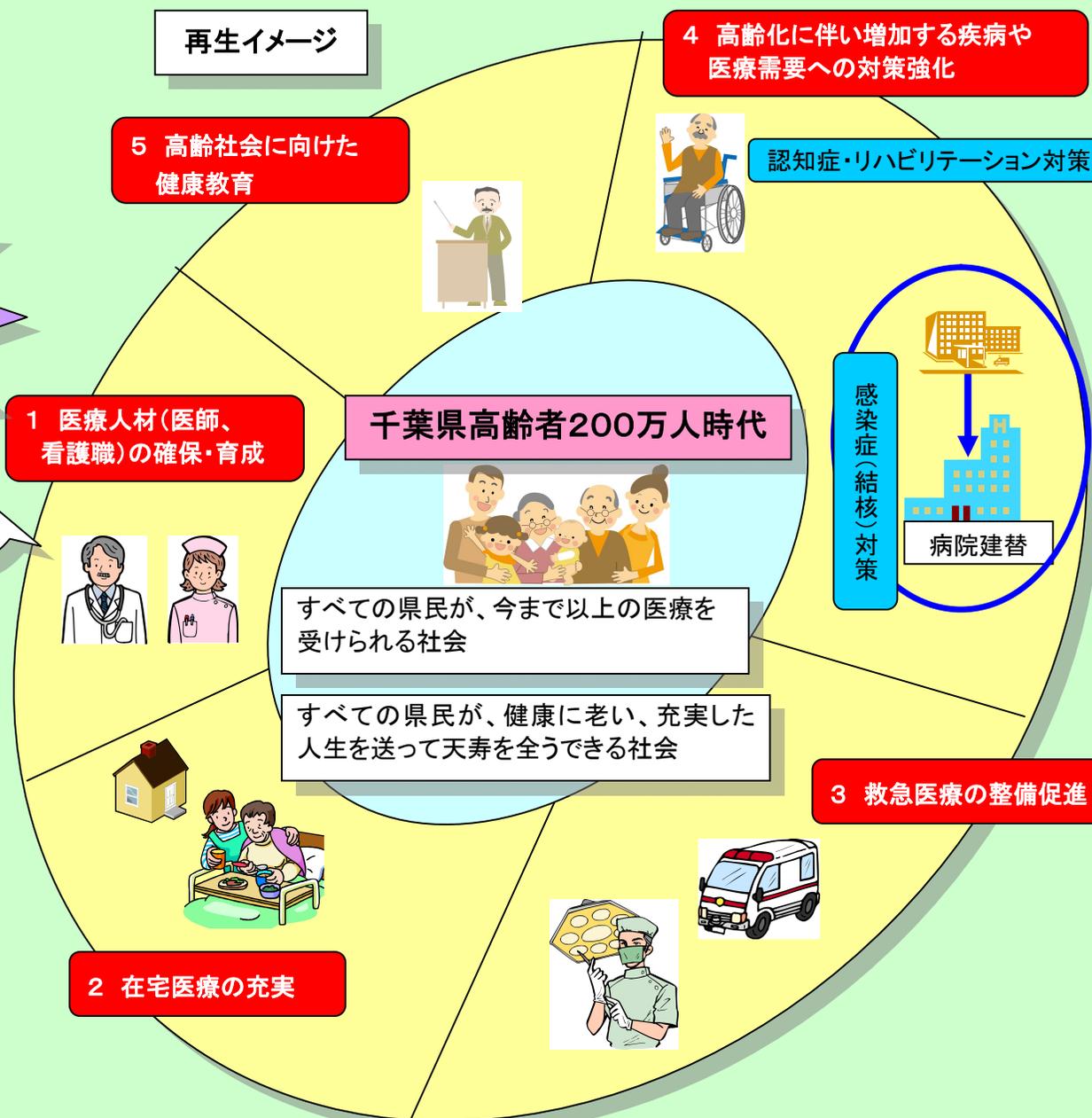
高度成長期に地方から大量に流入した団塊の世代が高齢期に達する。  
平成57年には高齢者人口が200万人に！

## 課題

- 1 医療人材の不足
- 2 在宅医療資源の不足
- 3 救急医療需要の急増
- 4 高齢化に伴い増加する疾病や医療需要
- 5 超高齢社会の到来

## 再生計画（5本の柱）の実施

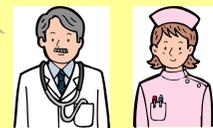
## 再生イメージ



認知症・リハビリテーション対策



病院建替



# 千葉県高齢者200万人時代に備えて

## I 千葉県の現状

千葉県では、高度成長期の昭和40年から50年にかけて地方から大量に流入した団塊の世代が、今後、高齢期を迎えることにより、医療需要が急増することが見込まれている。

また、千葉県の高齢者人口は、平成57年には200万人に達する見込みであり、これまで人類が経験したことのない超高齢社会（千葉県高齢者200万人時代）が到来する。

これまで千葉県は、医療をあまり必要としないとされる若い世代が多い県であったため、現場の医療者の献身的な努力により、全国に比べ少ない医療資源でなんとか医療を支えてきた。

しかし、今後到来する千葉県高齢者200万人時代に備えて千葉県の医療を再生するため、千葉県地域医療再生計画を策定し、以下の5本の柱をテーマに取組むこととする。

## II 5本の柱

### 1 課題：医療人材の不足

**対策：医療人材（医師、看護職）の確保・育成（26.41億円）**

- ①「総合医・在宅ケア研修強化事業」で、若手医師が幅広い診療科にまたがる診療能力を身につけることを可能とする、特色のある後期研修プログラム実施医療機関を支援することにより、総合医を目指す若手医師の確保を図る
- ②「県内新設看護職養成施設等への支援」で、看護職の育成数の増加や専門性を持った看護師の育成、定着率の向上を図る

### 2 課題：在宅医療資源の不足

**対策：在宅医療の充実（3.87億円）**

- ①「千葉県地域医療総合支援センター（仮称）の運営整備」で、在宅医療を担う開業医の育成及び効率的な在宅医療技術の普及促進を図る
- ②「在宅医療薬剤師の養成」「訪問看護実践センター整備」で、在宅医療を担うコメディカルの人材育成及び効率的な在宅医療技術の普及促進を図る

3 課題：救急医療需要の急増

対策：救急医療の整備促進（11.73億円）

- ①「救命救急センター等整備事業」で、既存の救命救急センターの更なる機能強化と新たに救命救急センターを目指す病院の施設整備を図り、今後の高齢化の一層の進展に伴う、救急患者の増加に対応する。
- ②救急患者の迅速なトリアージと適正な治療を行う初期、2次救急医療機関を整備し、3次救急医療機関との一層の連携強化を図る。

4 課題：高齢化に伴い増加する疾病や医療需要

対策：高齢化に伴い増加する疾病や医療需要への対策強化（22.86億円）

- ①「認知症対策」「リハビリテーション対策」で、医療と介護の両分野において、認知症やリハビリテーションに対応する人材の育成及び体制整備を図る

5 課題：超高齢社会の到来

対策：高齢社会に向けた健康教育（1.4億円）

- ①「老年医学研究」で、医学を中心に社会学・政治学・経済学・交通学などの専門家が協力し、千葉県高齢者200万人時代の社会のあり方について議論・総合的な研究を行い、対策を立案する

### Ⅲ 千葉県地域医療再生計画終了時の姿

「1 医療人材の確保・育成」「2 在宅医療の充実」「3 救急医療の整備促進」「4 高齢化に伴い増加する疾病や医療需要への対策強化」事業実施により、団塊の世代が高齢期を迎えることにより急増する医療・介護需要に対応し、

⇒高齢者をはじめとして、「すべての県民が、今まで以上の医療を受けられるようになる社会」が実現する。

⇒さらに、在宅医療の推進により、患者の療養・治療の場の選択肢を増やす。

「5 高齢社会に向けた健康教育」事業実施により、県民自身が望む場所で、県民自身で医療や介護サービスを選択することが可能な、

⇒「すべての県民が健康に老い、充実した人生を送って天寿を全うできる社会」が実現する。

⇒さらに、今後日本全国で同様の高齢社会の到来が見込まれることから、この事業成果をリーディングケースとして、

全国の都道府県に応用することが可能となる。